

愛知県市町村対抗駅伝競走大会

問スポーツ課 (☎63-6040)

県内市町村54チームが9区間30.2kmを競う愛知駅伝に、刈谷市代表選手としてこの18人が出場します(敬称略)。前回大会の順位は4位入賞。今年も入賞を目指します。

時12月6日(出)12時30分 場愛・地球博記念公園

他大会の様子は、東海テレビで放映されます。



小野尾 一乗 監督
(市陸上競技連盟)

今年のチームも市の代表として胸を張って送り出せる選手ばかりです。昨年以上の3位入賞を目指して、選手たちも日々練習を重ねています。市民の皆さんの期待を背に頑張りますので、応援よろしくお願いします。



小林 聖奈
(依佐美中学校)

第1区

畠山 凜
(朝日中学校)



神谷 一希
(愛知高校)

第2区

村田 航基
(安城学園高校)



上村 爽斗
(富士松南小学校)

第3区

野々目 健祐
(かりがね小学校)



鶴崎 大河
(雁が音中学校)

第4区

宮田 昊
(刈谷南中学校)



酒井 香音
(かりがね小学校)

第5区

鈴木 はな
(住吉小学校)



加藤 真奈美
(プロギングジャパン)

第6区

坂川 恋露
(豊田自動織機
シャイニーブルー)



大畑 夢依里
(安城学園高校)

第7区

高橋 沙綾
(豊川高校)



大林 僚
(アシックススポーツ
ファシリティーズ)

第8区

高井 浩二
(愛知県警)



塚本 亮司
(アイシン)

第9区

二宮 秀
(豊田自動織機
ITソリューションズ)

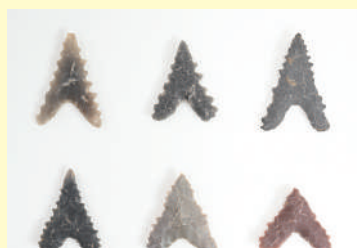


かりや歴史探訪



No.003 ギザギザの石鏃

石鏃とは、矢の先端に取り付けられた石製の矢尻です。縄文時代の遺跡から見つかる石鏃の中には、縁がのこぎりの刃のようにギザギザに加工された鋸歯縁鏃と呼ばれるものがあります。刈谷市では縄文時代後期(4400~3200年前)頃によく見られる石鏃で、特徴的なギザギザは、矢の威力を高めるとともに、獲物に刺さった際に抜けにくくする効果があったと考えられます。また、材料の石にもさまざまな種類のものが使われており、石の割れ方を理解した縄文人の石器作りの技術がうかがえます。



中条遺跡(重原本町)出土の鋸歯縁鏃

問歴史博物館 (☎63-6100)